

山田クリニック ぽすと

平成23年 7月号

〒522-0054 彦根市西今町 923-1

Tel 0749-22-7005 Fax 21-3981

<http://www.hikone-yamadacl.com>

診察室から

梅雨明け前から猛暑日になるような暑さが話題になっていますが、今年も熱中症の季節になりました。熱中症の予防のために水分を取るようといわれていますが、水分を十分にとっても、脱水は予防できますが、熱中症は予防できません。本来、熱中症は、過度(40度以上)に体温が上昇して、意識障害を引き起こすものであり、その原因は体温調節の障害です。強い太陽光の下で長時間過ごすことで体温が上昇して、熱中症(熱射病)になることはなんとなくわかりますが、なぜ屋内で熱中症が起こるのでしょうか? 皮膚にある汗腺から出る汗が蒸発することで体温が調節されています。この汗が出なくなったり、汗が出ても蒸発しない状態では体温が上昇してしまいます。脱水状態で汗が少なくなると体温が上昇して、脱水による熱中症が起こります。温度の高い風通しの悪い室内では、汗をかいても蒸発せず、熱中症が起こります。節電のためにクーラーの設定を高くといわれていますが、クーラーだけでなく、扇風機も利用して、汗を蒸発させるようにして、屋内での熱中症を予防してください。

検査室より アナログからデジタルへ

ご家庭のカメラがフィルムからデジタルへと変わりつつある昨今、いよいよ今月にはTVの放送もアナログからデジタルへと移行します。医療の世界でもここ最近では、アナログからデジタルへの進化が進みつつあり、当院のレントゲン検査もフィルムで診ていたものが、パソコンのモニターで診るようになってきているの気づいておられるでしょうか?

アナログ時代のフィルムで先生からの検査説明を聞かれていた時よりも、パソコンの画面上で画像が大きくなったり、小さくなったり、また過去の写真を隣り合わせで並べてみて比較したりと随分見やすく、また、わかりやすくなったのではないかと思います。

さらに、MR検査やCT検査、超音波検査に胃カメラなど異なる検査の画像も並べて説明を受けることもでき、また他の医療施設での検査結果も一緒に見ることも出来たりしています。

そのうちに、インターネットのように瞬時に多くの情報を見ることも可能になると思いますよ。
(放射線技師)

季節のことば

青嵐 (あおあらし)

青葉を揺らし爽やかに吹く風のことをこう呼んでいます。

同じ南風でも南風(はえ)と読むと、近畿以西の漁師や船乗りによるこぼれる順風のことになるそうです。

当院の診察時間のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	△	○	○	○
午後	○	×	○	×	○	×

午前診察 9:00~12:00 △:水曜日は11:00まで

午後診察 4:00~6:00

ご連絡

特定健診実施中です。

